

小 鋤

- 創刊号 -

Koduchi
Furusato
Tu-shin

ふるさと通信

2015年10月20日発行 <http://www.town.ofsuchi.iwate.jp/>



大槌まつり開催

小 鋤

PICK UP

～小鋤で頑張る人たち～

ここでは、小鋤で頑張る人たちを取り上げ(pick up)ます。
今回は、ほぼ毎年祭りに参加している人、久しぶりに祭りに参加した人、2人をご紹介します。



かわさき ふみのり
川崎 史典さん (31歳)

踊り手として、20年以上祭りに参加

小学校に入学する前から踊り手として祭りに参加している史典さんは祭りについて、「地元に残り、練習して祭りに臨める人がどんどん少なくなっています。自分より若い世代が祭りに参加し、踊れるようになり、やってよかったと思ってもらえるよう、しっかり伝えていきたい」と、思いを教えてくださいました。

小鋤での生活について「不便なところはあるけれど、自分の時間をとれる生活を気に入っています。」と笑顔で教えてくださいました。



こいし ゆりか
小石 祐理香さん (24歳)

先輩に誘われて、9年ぶりの参加

仕事の先輩に誘われ約9年ぶりに参加した祐理香さん、今年から役場で働き始め、職員の福利厚生に関する仕事などを行っています。

「9年ぶりに太鼓として参加し、とてもつかれました。中学校の時とは歩くコースが違って少し不思議な感じがしました。あと、祭りに参加する人が少なくなって少しさびしい感じもしました。」と久しぶりの祭りを振り返りました。

また、仕事は「同じ部屋に小学校からの先輩がいます。仕事中は直接関わることはあまりありませんが、ちょっとだけ心強い気がします。」と教えてくださいました。



「小鋤ふるさと通信」をお知り合いにも読んでもらえませんか？

町外に住んでいるご家族、ご友人で「小鋤ふるさと通信」を読んでもらえる人を募集しています。送付先を教えてくださいましたら、こちらから送付します。ご希望の人は下記問い合わせにご連絡ください。

【問い合わせ】大槌町役場 総合政策課 企画調整班 TEL:0193-42-8724 担当:花石、田中



青天のもと、
笛と太鼓の音が町に響く

大槌祭り

9月20日(日)、21日(月)大槌祭りが開催され、小鎚神社徳並獅子踊は21日(月)に復興に向け、工事が進む町を歩きました。震災後、復興事業の進展に伴い順路を変えながら今年で、5回目を迎えます。

今年は約40名が、小鎚神社徳並獅子踊に参加、20年以上参加している人から、約10年ぶりに参加する人、子どもから大人まで様々な人が、華やかな祭りの衣装に身を包み、町を歩きました。また、大槌町役場に県外から派遣されている職員も参加して、祭りを盛り上げました。

練習は9月からはじまり、約20名程度が参加しています。祭り当日には、県内外の人も帰省して祭りに参加しています。

震災前は、小鎚小学校の授業で獅子踊りがあったので、もしかしたら、踊れたり太鼓を叩ける人も多いと思います。来年はぜひ皆さんも祭りに参加して、華やかな1日をお楽しみください。



阿部 和治 (64歳)

小鎚神社徳並獅子踊の代表を務める阿部さん、「大槌から避難した人が、いつか帰ってきた時の為に、今も獅子踊を頑張っている。」と意気込みを語ってくれました。